

農業版事業継続計画書 簡易版

策定・改定日	2022年2月25日	従業員・家族共有日 (原則策定・改定日から1ヶ月以内)	2022年3月15日	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	2023年2月25日
想定リスク	強風・突風、大雪による園芸施設への直接被害。豪雨・長雨によるほ場・施設への直接被害。 交通・電気等のインフラ被害による収穫・調整・出荷作業への悪影響。				

**1. 基本方針**  
緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	安全確認・安否確認を優先し、人命を守る
2	出荷可能か判断し、取引先に連絡を行う
3	

**2. 重要業務と目標復旧時間**  
以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	収穫と出荷
目標復旧時間	48時間以内

**3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)**

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	野菜洗浄機や出荷調整用の機器の電力供給について	ディーゼル発電機を所有、燃料(軽油)を備蓄
ガス	影響なし	
水道(農業用水含む)	ハウス内の冠水や、畑の冠水に影響あり	敷地内の井戸から水を供給する。
情報通信	受注業務や出勤確認、離れている圃場での連絡に影響あり	受注業務はメールで対応。災害時の集合場所を決め、伝言ボード等で連絡をとる。
交通	出荷や配送への影響あり	道路が通行可能であれば、出荷。通行不可であれば、連絡を取れるように対応する。
ほ場等	水害時に、作物への影響あり	水害であれば、明渠を掘り対応する。圃場の安全確認を行い、できることを優先する。
その他		

**4. 事前対策の実施状況**

分類	項目
ヒト	安否確認手段 LINE・ショートメール 連絡体制 社長より全員に安否確認連絡
	避難場所 一次集合場所: 駐車場 二次集合場所: 地元の神社
	欠員時の対応 出勤可能な人数で、業務の割り振りを行う
モノ	設備使用不可時の対応 井戸より、水を供給、ポンプで灌水。電源に関しては、自家発電機を使用し、電力を確保する。 調達支障時の対応 肥料は、50%(一作物)を在庫として保管する。(種は一部、自家採種で対応)
	その他 ハウス用補修テープ、バッカー、マイカ線は予備を確保する。
	手元資金 ●円(●銀行)
カネ	その他 備考
	セーフティネット 保険加入 NOUSAIへ加入予定
情報	その他 備考
	重要情報保管場所 新規事務所にて保管場所を確保予定
	PC等使用不可時の対応 共通の情報は、ドロップボックスに保管。その他重要書類は、印刷物として保管。
地域連携	災害時の対応について地元農協に確認しておく

**5. 緊急時の体制**

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
社長(取締役)	A氏(取締役)

【初動対応フェーズ】(目安: 緊急事態発生～24時間以内)		【事業継続フェーズ】(目安: 初動対応完了後～)		
○状況確認		○重要業務継続の具体的方法		
確認対象	担当者	対応手順	担当者	
役員・従業員 家族を含めた安否確認	社長	①現状把握(発生～24時間以内) ・圃場の被害状況把握 ・出勤可能人員の把握 ・農業機械、井戸、ハウス、建物の被害状況確認	①社長/A氏	
建物・設備 ITを含む状況	A氏			
その他事業資源 肥料・飼料・農薬等の在庫	A氏			
取引先 状況確認	社長/取締役	②作業準備(発生～36時間以内) ・圃場における被害の応急処置、非常用発電機の稼働 ・ハウスの軽度な修復 ・取引先への現状報告、臨時的対応を検討 ・農業機械の修理が発生した場合は、修理を依頼	②A氏/B氏	
インフラ 電気・ガス・水道・交通等の状況	社長/A氏			
その他		③収穫、出荷調整作業(発生～48時間以内) ・出勤可能人員による臨時シフトの作成 ・ハウスの補修と復旧 ・収穫状況に応じ、臨時の出荷対応方針の取り決め ・取引先への出荷報告(被害状況、出荷可能数の連絡)	③社長/A氏	
救急箱	1セット その他: バイオトイレ			1台
飲料水	1箱分 その他: 懐中電灯			1個
食料	缶詰など その他: ガスボンベ	10ケース		
ヘルメット	人数分 その他: お米	備蓄米		
○出勤・帰宅ルール				
状況	原則ルール			
出勤時	【原則】事務所内待機(震災の場合は、事務所敷地内の安全な場所待機)			
在宅時	【原則】自宅待機			
その他	【原則】一番近くの安全な場所待機			

BCP策定後の運用  
日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」「策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。